

### でか山の魅力を世界に!

木下議員 青柏祭でか山を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、大変喜ばしいことである。今後、誘客の起爆剤として、どういった方策を行っていくのか。また、技術・技能の継承の観点で、修理・保存に関しては国の支援や寄付のほか、地元の負担も大きく、苦慮している。今後の修理・保存の助成のあり方についての考え方を伺う。

不嶋市長 この登録を弾みとして「でか山」の魅力を世界に広めて、さらに七尾市に人を呼び込むことができるよう、でか山保存会や観光協会などと力をあわせ「でか山」を生かしたまちづくりをしつかりとしていきたい。誘客に対して、ポスターやパンフレットにもユネスコ登録されたことや「日本一のでか山」であることなどをしつかり明記し発信していく。また、広域連携の飛越能3県で5つの登録行事があり、これらを紹介するパンフレットの作成も検討したい。今後、祭り期間中以外でも誘客に繋がるよう情報発信していく。修理保存に関しては、今後も国庫補助の事業採択を基本に考え、早め早めに対応したい。山町には祭礼終了後の早めの確認をお願いし、それをもとに国に申請手続きしたい。市としても財政状況を勘案しながら、前向きに助成についても検討していきたい。



でか山(青柏祭)



その他の質問項目  
■駅前商業施設パトリア ■七尾城の整備計画

### 孤独死を未然に防ぐ対策を!

大林議員 今年度、県内で161人が孤独死したということだが、七尾市では何人孤独死がいたのか。また、孤独死を防止するためにはどのような対策をすればいいと考えているのか。

不嶋市長 県内で65歳以上の高齢者について、警察が取り扱った件数は、ご指摘の通り161人で、うち七尾市では13人と聞いています。孤独死を防止するには、大変難しい部分もあるが、ひとり暮らし世帯については、民生委員・児童委員、あるいは地域包括支援センター等による声掛けや見守り、また協定を結んでいる民間事業者による見守りなど、今後ともしつかりと行っていく。なお、日ごろからの心がけで、万一のときにも早期発見していただけるような地域づくりができることが望ましい。それぞれ地域での体制づくりがしつかりとできることが大事で、本人自身も地域に顔を見せたり、地域に関わったりしていくことがとても大切なことではないかと考えています。



地域包括支援センター

その他の質問項目  
■残業時間 ■児童虐待死 ■不登校 ■全国学力テスト ■アベノミクス ■オプジーボ

### 安全な通学路を確保せよ!

伊藤議員 バス通学についての情報提供が少ないということだが、どのような状況なのか。また、自転車通学の安全確保対策は、どのような予定なのか。通学時間帯に交通量の多い国分寺公園横の交差点に信号機がないが、設置する予定はあるのか。通学路で路側帯のない道路も多く、少しでも安心して通学するための路側帯を引いたり、道幅を広げたりできないのか。

近江教育長 自宅から6キロ以上離れた生徒は路線バスを利用してもらう。大津方面、吉田方面、若林方面からの既存の3路線に加え、田鶴浜から三階を通る新規路線をあわせ4路線を準備している。既に説明会は終え、ホームページにも公表している。現在は、利用しやすいダイヤ案について事業者と最終調整中。また、自転車通学の安全確保について、危険個所の点検や対策など、七尾市通学路交通安全プログラムに沿って計画的に実施している。国分寺公園横の交差点の信号機設置は、現在要望中であり、設置されるまでは地下道や安全な通学路の利用をお願いする。路側帯のない道路については、車道の幅が大変狭く危険。中長期的な対策が必要である。地域の方々のご理解とご協力を得ながら、安全指導や通行規制などを実施して、生徒の安全確保を図る。



七尾中学校周辺の道路

その他の質問項目  
■里山里海の取り組み ■市内図書館の充実と存続 ■子育て支援強化策

### ふるさと納税に次の一手を!

荒川議員 ふるさと納税は、今は季節的に歳暮などで順調に上り坂のようだが、全国的にやがて下り坂になってくる。年間を通して、ラクダの背中のような波打ったラインになる。この波をいかに抑えて、ゆるくても確実に期待できる財源としての安定性のあるものにしていくか知恵のみせどころ。次の一手となる取り組みについて、どのような考えがあるのか。

不嶋市長 12月12日現在で七尾市にふるさと納税していただいた件数は、4,845件で1億1,700万円強であり、順調なすべり出しをしたと思う。これまで見てきた課題は、選ばれる返礼品として写真の見せ方や組み合わせの工夫、安定した数量の確保、繁忙期における出荷の対応のほか、新たな事業者の参画と返礼品の追加などもして、さらに魅力あるものにしていく必要がある。引き続き、返礼品の提供事業者に働きかけ、返礼品の充実とともに七尾の魅力をしつかりと伝えることのできる「ふるさと納税」を確立していきたい。新たな取り組みとして、楽天トラベルが12月1日から、ふるさと納税による返礼品宿泊クーポンをスタートさせた。市内の46宿泊施設のほとんどが楽天トラベルに登録されており、いつでも利用できるということも期待しているところである。



ふるさと納税の一部

その他の質問項目  
■市政2期目の姿勢 ■行政機能の効率化 ■能登立国1300年 ■幼保小連携

### 地域と協力した避難所運営を!

山添議員 大規模災害時に避難所となる学校において、学校避難所マニュアルはあるのか。学校を避難所とした時、運営の主体は学校職員なのか、行政職員なのか、地域住民なのか。避難所運営に女性の意見を取り入れた運営をしてほしいが、七尾市はどうか。

白田市民生活部長 避難所施設の運営マニュアルは作成したが、学校に特化したものはない。今あるマニュアルを各施設に当てはめながら対応する。学校に限らず避難所については、災害対策本部から指示によって市役所と地域とが連携して運営していくが、基本的には地域づくり協議会や町会、自主防災組織など地域の方々が主体となって避難所運営にあたっていただきたい。今後、地域づくり協議会に避難所運営の訓練を働き掛け、施設管理者も交えて訓練を通じた運営マニュアルの確認をしていく中で検証を行っていく。また、避難所運営に女性の視点を取り入れた運営は大切だと認識しており、運営マニュアルにも女性の立場の提案が欠かせないものとなっている。運営委員会の構成員にも女性の参画が重要である。



避難訓練時の避難所の様子

その他の質問項目  
■学校給食費徴収 ■除雪対策 ■学校図書活動

### 公平感のある賦課を!

佐藤議員 国民健康保険は、市町村が運営主体のため、小規模な地域は財政が不安定になりやすく、保険料の水準も地域間で格差がある。自治体によって保険料に差があり、不公平感も出てきていることから、国保の広域化に向けての考えはないのか。また、国保料の賦課基準から資産割を除外している市もあるが、広域化を進めるにあたり、より公平感のある賦課方法を導入することが重要と考えるが、今後の七尾市の資産割賦課についての考えはどうか。

不嶋市長 平成30年度から国保の財政運営の主体は県になる。市は国保事業費納付金見合いで賦課徴収した国保税を県に納付する仕組みになる。県は所得水準、医療費水準を考慮して、市町ごとに国保事業費納付金を算定し、納付に必要な標準保険料率を示していただくことになる。七尾市としては、平成30年の3月議会で、示される標準保険料率とともに所得割などの被保険者の状況を見極めて、国保税率など検討していく。また、現在、国と市町と国保連合会で石川県国保運営方針連携会議を開催しており、そこで資産税割の取り扱いを含め、標準保険料率を賦課する方式など検討し始めている。その進捗状況をにらみながら、賦課方法や保険料率について、今後具体的に検討を進める。



国民健康保険証のみほん

その他の質問項目  
■保育園の民間委託 ■都市計画税 ■時間外労働削減